

# 新設計書年度版 操作説明書

## 目次

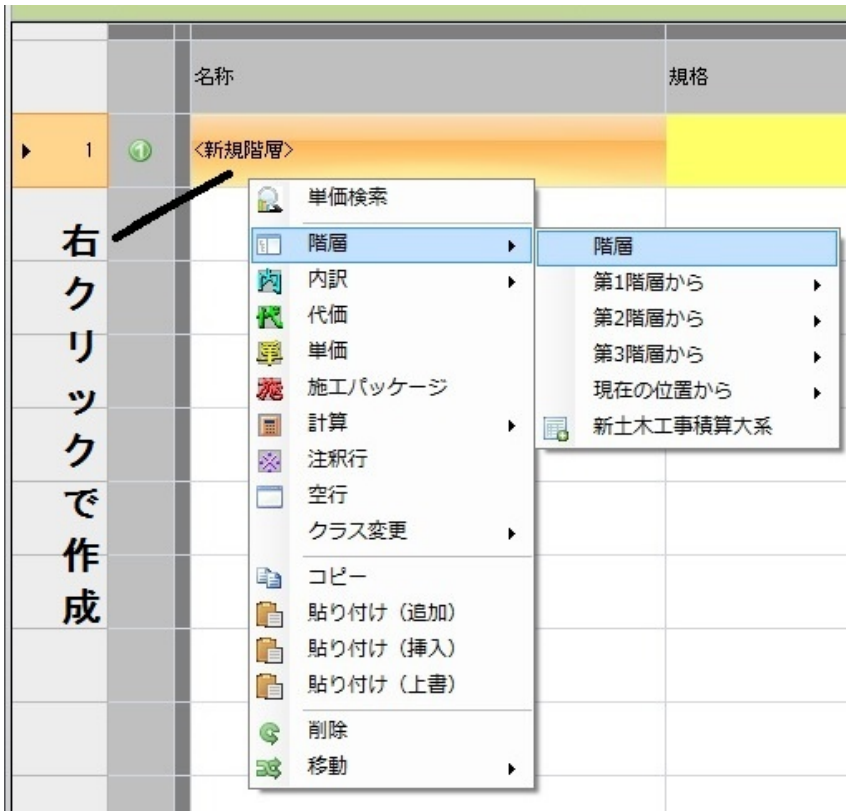
<b>1.新設計書の概念や変更点</b>	⑤その他印刷の設定……………28
①旧設計書と新設計書の使い分け…………2	<b>5.PDF/Excelの出力</b>
②設計書の保存方法の変更……………3	①PDF/Excel形式で出力する……………29
<b>2.設計書の起動や作成/操作</b>	<b>6.その他/更なる活用</b>
①新設計書 (頁2015)の起動……………4	①内訳/代価番号の採番……………30- 32
②旧設計書 (頁2014)の起動……………5	②内訳/代価の表示行数……………33
③直接工事費を開く/各グループ…………6	③単価一覧画面について……………34- 35
④各ボタンの機能……………7	④内訳書名称を任意で設定したい…36
⑤旧設計書の設計書を取り込む……………8	⑤スペースを含んで検索する……………37
⑥階層や内訳書を作成する……………9- 10	⑥施工パッケージの材料を変更する…38- 39
⑦内訳書作成直後の動作設定……………11- 12	⑦施工パッケージを検索する……………40
⑧代価/内訳詳細の入り方と戻り方…13	⑧旧単価を新年度単価に更新する……41
⑨右クリックメニューについて……………14	
⑩新設計書のコマンドバーについて…15	
⑪夜間/亜熱帯工事に設定する……………16	
⑫単価倍率/金額を一括変更する……17	
⑬単価を管材/処分費に設定する……18	
⑭共通仮設費の積上げ方……………19- 20	
<b>3.新設計書の各種設定</b>	
①表紙の設定……………21	
②諸経費の設定……………22	
<b>4.印刷機能について</b>	
①表示中のページを印刷する……………23	
②印刷フォーマットの設定……………24- 25	
③印刷対象の設定……………26	
④設計書名や単価表の設定……………27	

# 旧設計書と新設計書の使い分け

新設計書」は「旧設計書」の機能を継承し、大きく変わりました。より多くの機能より柔軟な設定ができる反面、「旧設計書」と完全互換ではなくなります。

新設計書」と「旧設計書」を使い分ける必要があります。  
 新設計書」新規作成工事及び2014年度作成した設計書も可能です。  
 旧設計書」以前に作成した設計書で、変更設計を作成するとき。

## 主な変更点1 右クリックで階層や内訳の作成



## 主な変更点2 設計書へ転送した施工パッケージが単価ではなく、代価として詳細を確認出来るようになりました。

	代表機材規格(現地)	単位	構成比	単価(現地)	補正式	摘要	コード	計算数量	単価(東京)
▶ K	機械	-	56.59						-
K1	ブルドーザ[湿地・排出ガス対策...	供用日	56.59	24,100			M010102220020	0.0057	24,100
R	労務	-	21.93						-
R1	特殊運転手	人	21.93	17,500			Y0000001636	0.0031	17,100
Z	材料	-	21.48						-
Z1	軽油 1.2号 バトル給油	㍓	21.48	129			Y0000000277	0.4896	106

## 設計書の保存方法の変更

旧設計書では、書き換える度に自動で上書き保存されてました。  
今回の新設計書では、ユーザの意思で保存を行なう事が出来ます。

### 保存方法の変更

1.例えば、下記の設計書があったとします。

		名称	面	金額	摘要
1	①	本工事		1,380	
2	②	土工		1,380	
▶	3	内	舗装工	1,380	1,380

2. 舗装工」の下に、単価を1つ作ったとします。この時点で、  
旧設計書では上書き保存がされていました。

		名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘
1	①	本工事		式	1		53,180	
2	②	土工		式	1		53,180	
3	内	舗装工		式	1	1,380	1,380	
▶	4	単	GX形DIP栓	φ75	個	2	25,900	51,800

作成した単価

3.今回、新設計書では保存を行わず、ユーザの意思で  
上書き保存をする事で保存となります。

### 保存する時の注意事項

保存する前に以下の注意事項をお読み下さい。

- ①保存を行なっていない場合は、予め保存を行なう必要が有ります。
- ②設計書の保存は各ボタン、あるいはコマンドバー等から出来ます。  
(※詳細は7ページ、15ページをご覧ください)

# 新設計書 (頂5) の起動

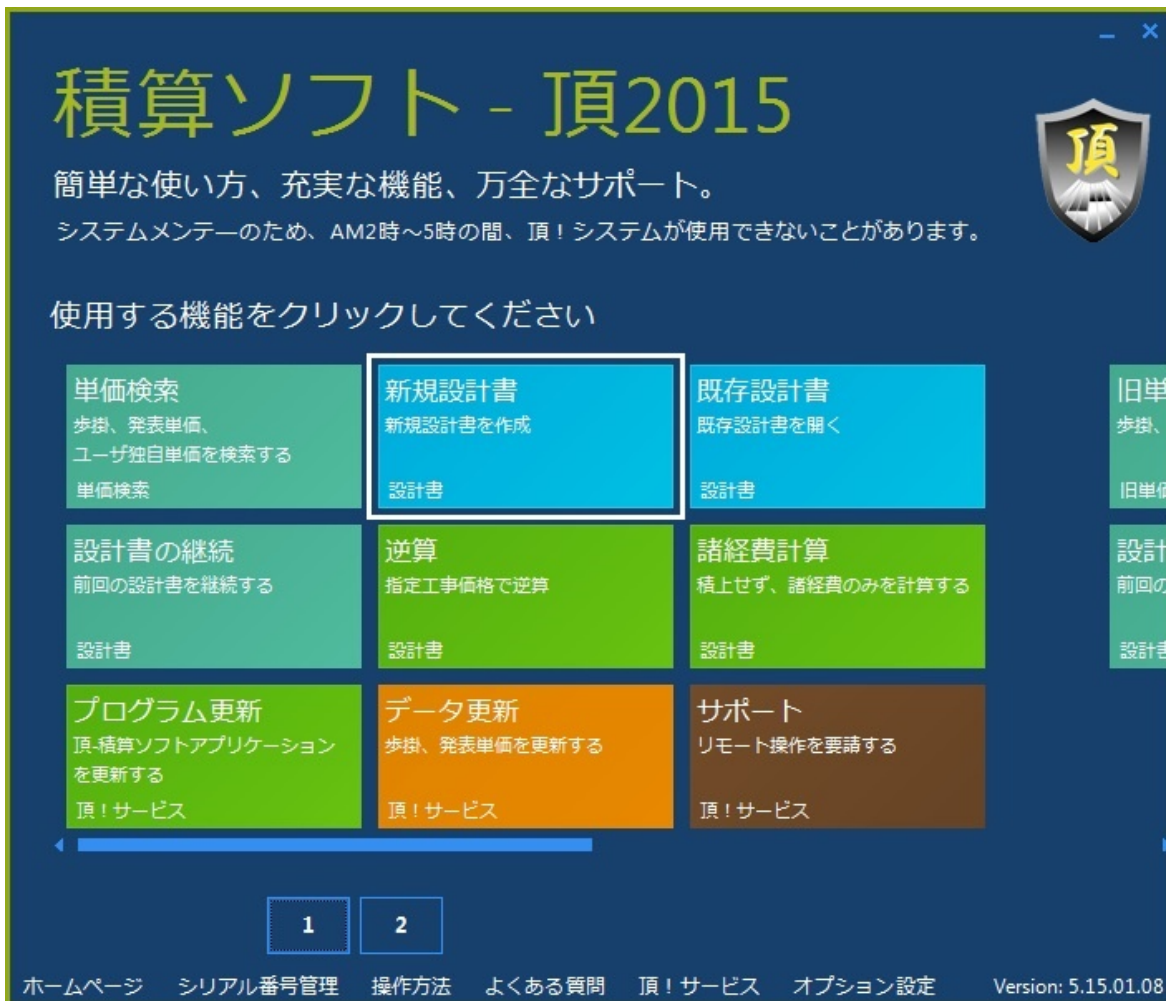
新設計書のアプリケーションの起動方法です。

## 新設計書(頂5)を起動する

1. 「頂」のアイコンをダブルクリックし、スタート画面を起動します。



2.画面内下部の「新規設計書」をクリックします。



3.新設計書が起動した事を確認します。初めて起動した時は諸経費の画面が表示されます。

## 旧設計書 (頂4) の起動

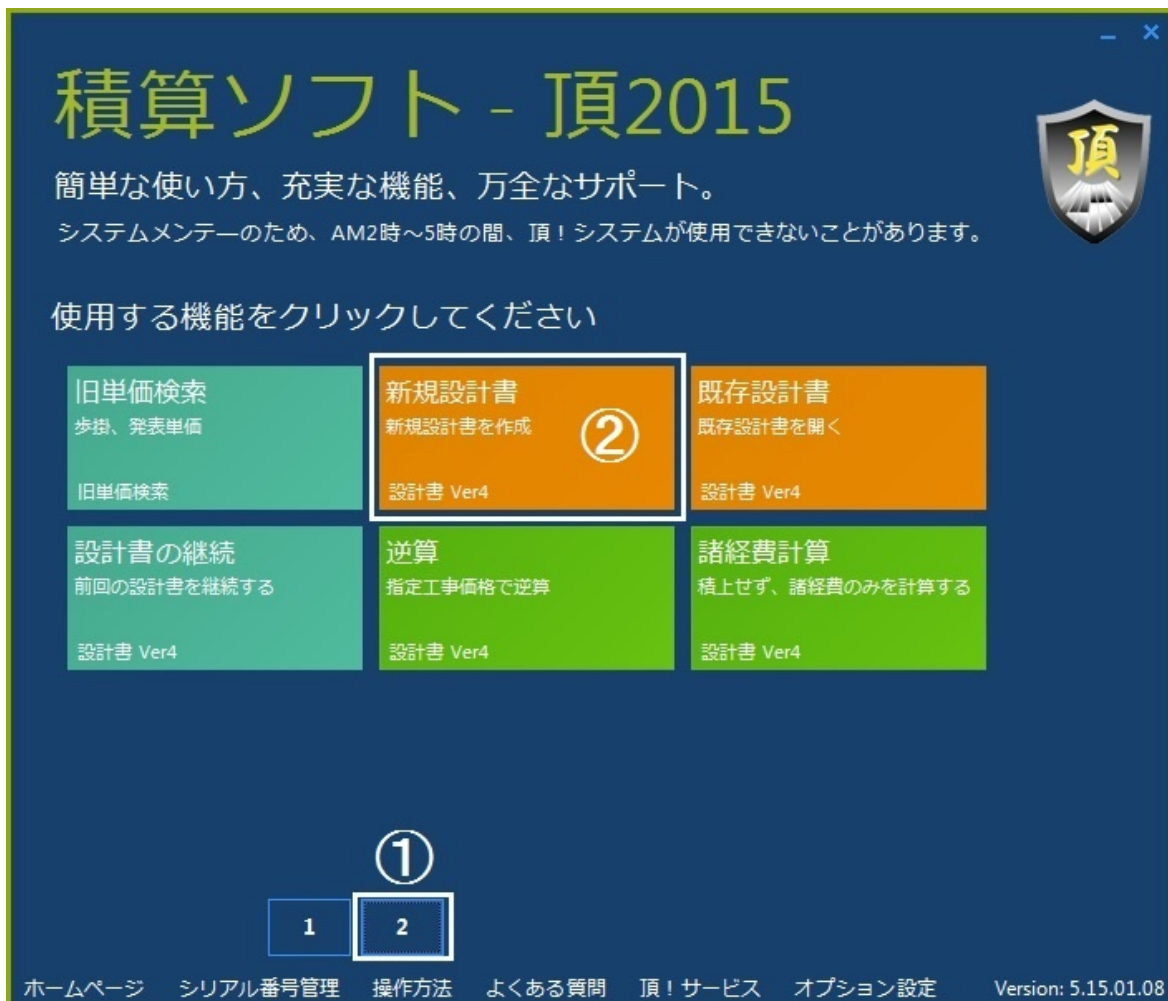
旧設計書のアプリケーションの起動方法です。

### 旧設計書(頂4)を起動する

1. 頂のアイコンをダブルクリックし、スタート画面を起動します。



2.画面内下部の①をクリックし、新規設計書(設計書 Ver4)」をクリックします。



3.旧設計書が起動した事を確認します。

## 直接工事費を開く各グループ

新設計書画面の左側に、各グループでメニューを持っています。  
設計書の作成や、各種設定変更、修正をする時に使用します。

### 各グループとは？

1.各グループとは、下記画像の①の部分の意味します。



3.枠内の②について

#### 【工事費内訳】

設計書画面を表示します。  
ここから積算が行えます。

#### 【諸経費】

経費条件や経費詳細等、諸経費  
に関する設定画面を表示します。

#### 【単価一覧】

直接工事費」で使用している  
単価を表示します。

#### 【各種設定】

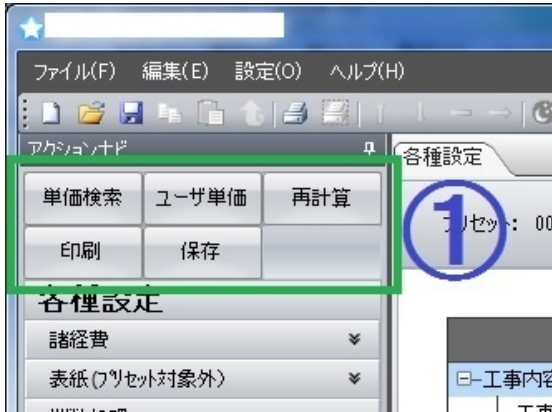
諸経費、端数処理等の積算する  
上で必要な設定や、その他変更  
設計、表紙設定が行えます。

# 各ボタンの機能

各アプリのクイック起動や設計書の保存、金額の再計算などが行えます。

## 各ボタンの機能

1.各ボタンとは、下記画像の①の部分の意味します。



### 【単価検索】

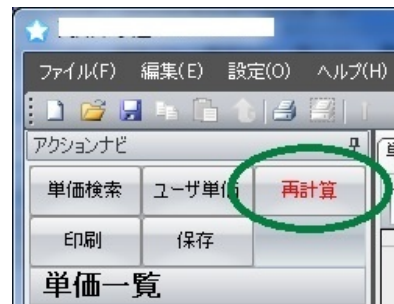
旧設計書と同様、単価検索が起動します。

### 【ユーザ単価】

新設計書専用のユーザ単価が起動します。

### 【再計算】

諸経費条件を変えたり、単価一覧である単価の金額を修正した時等、**金額変更に関わる事を行った場合**に使用します。また、従来通り必要な時に赤文字に変わります。



### 【印刷】

印刷開始前に、**予め印刷設定が開きます。**設計書を印刷したい時に使用します。

### 【保存】

状況により動作が変わります。初めて設計書を保存する場合は **名前を付けて保存** と同じ動作です。既に保存してある設計書の場合は **上書き保存** と同じ動作です。

# 旧設計書の設計書を取り込む

旧設計書(VT4)から設計書を、機能的に日助交換し旧設計書へ引き継ぎます

## 変換する前の注意事項

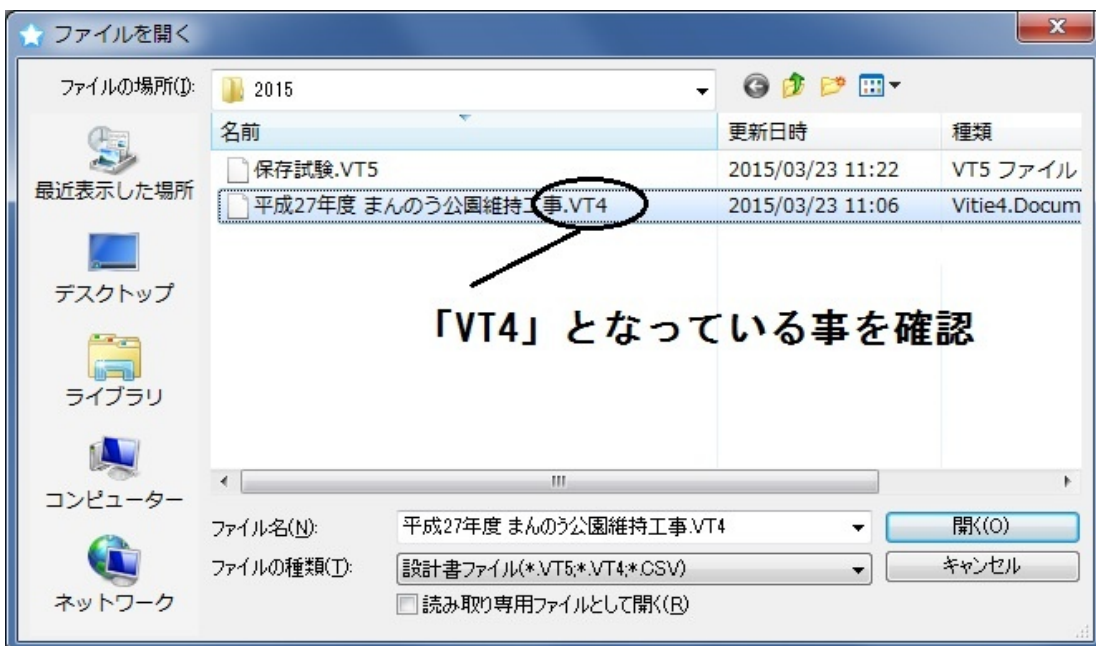
変換する前に以下の注意事項をお読み下さい。

- ①設計書の引き継げるデータは直接工事費と共通仮設費の部分のみです。
- ②諸経費等の部分は引き継がれませんので、手動で修正する必要が有ります。

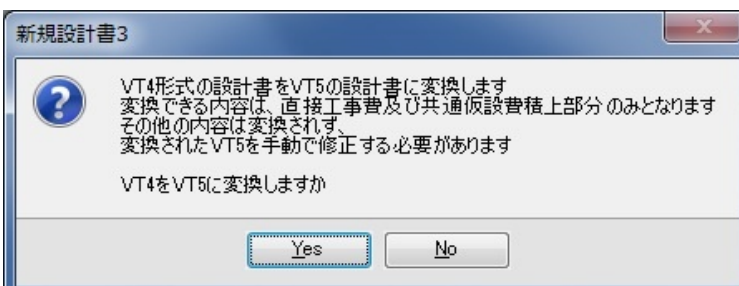
## 新設計書で旧設計書を取り込む

1.コマンドバーのをクリックします。  
(※コマンドバーについては15ページをご覧ください)

2.旧設計書で作った、拡張子が「VT4」のファイルを開きます。



3.開くと警告が表示されます。本ページの注意事項と画面の警告をよく読んだ上で、宜しければ「YES」をクリックします。



4.設計書が開いた事を確認します。

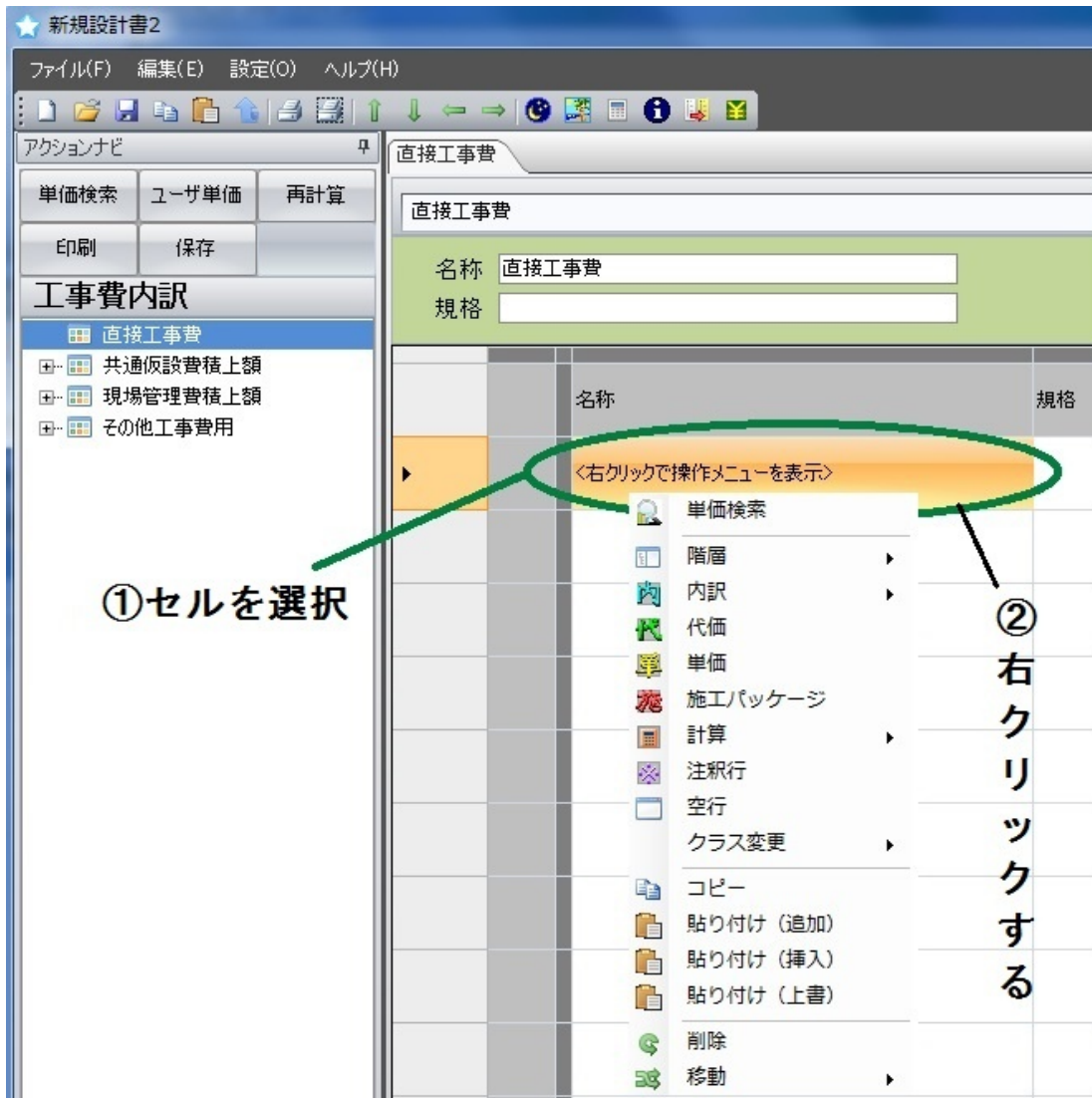


## 階層や内訳書を作成する

新設計書では階層や内訳書を作る操作が変わりました。  
以前はプルダウンメニューから、今回は右クリックで作成を行います。

### 新設計書で作成する

1. 「直接工事費」を表示します。
2. 任意でセルを選択し、右クリックするとメニューが開きます。  
選択されていないセルで右クリックしても同じです。



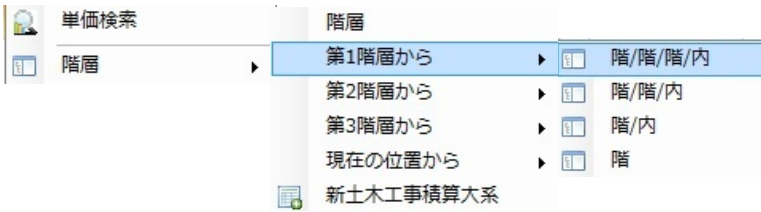
#### 【単価検索】

単価検索が起動します。

次ページへ続きます

**【階層】**

「階層」にマウスを置くと、メニューが開きます。例えば、「第1階層から」→「階/階/階/内」を実行すると、①（画像参照）の様に作ります。



		名称
1	①	<新規階層>
2	②	<新規階層>
3	③	<新規階層>
▶ 4	内	<新規内訳>

**【第2階層以降】**

第2階層以降は下記のメニューが表示されます。第2「」や第3「」は階層のレベルを意味します。

**【内訳書】**

「階層」と同様、マウスを置くとメニューが開きます。「土工」や「舗装工」等を選択すると、名称が定義された内訳書を作成します（画像参照）。

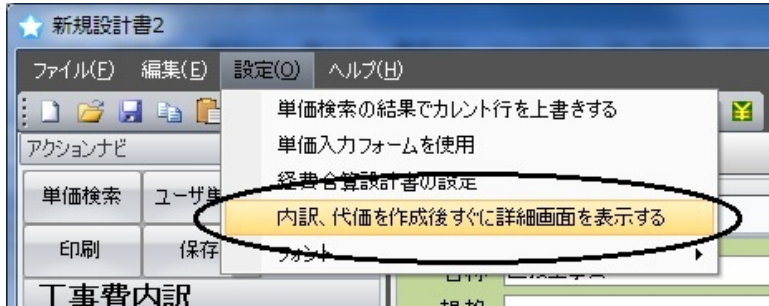
**①メニューを展開する****②名称定義された内訳書を作成**

# 内訳書作成直後の動作設定

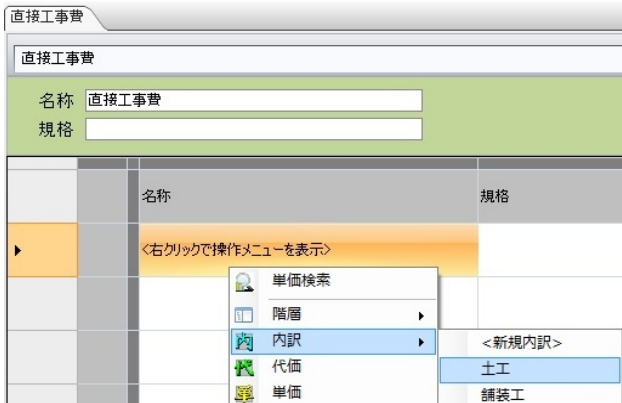
内訳書を作成した時の動作設定を変更出来ます。  
作成直後に内訳詳細へ入るか、そのまま維持か設定が行えます。

## 動作設定を変更する

1. ツールバーの「設定」から、内訳、代価を作成後すぐに詳細画面を表示する」をクリックしチェックを付けます。



**【チェックを入れた場合】**  
内訳書を作成後、即詳細へ入ります。



作成直後 ↓



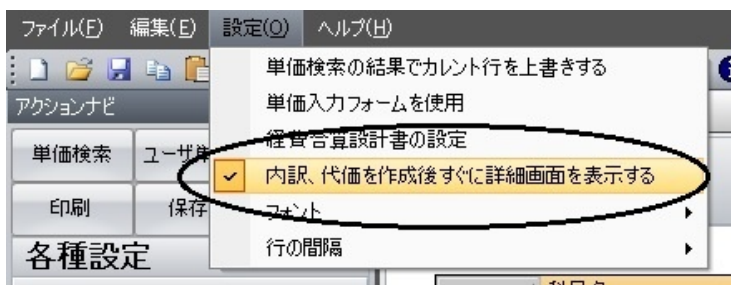
次ページへ続きます

**【チェックを外している場合】**

内訳書を作成後、直接工事費の画面を表示したままにします。

	名称	規格
▶ 1 内	土工	

2.もう一度、同じ設定をクリックする事でチェックが外れます。

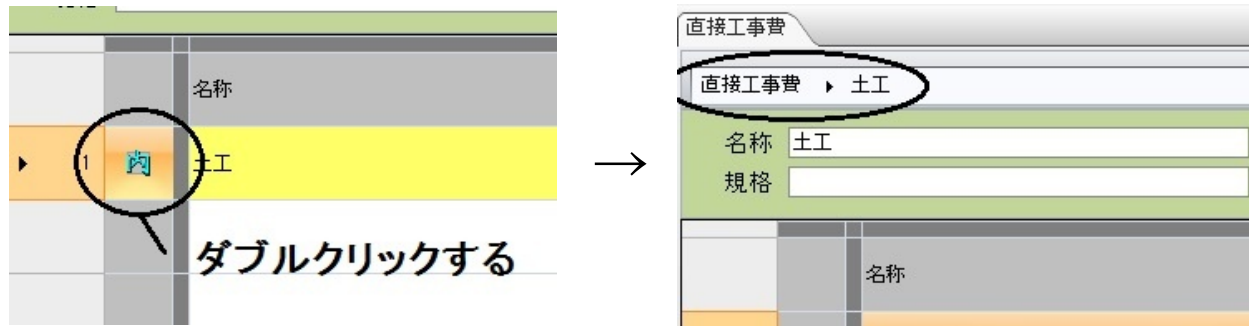


# 代価/内訳詳細の入り方と戻り方

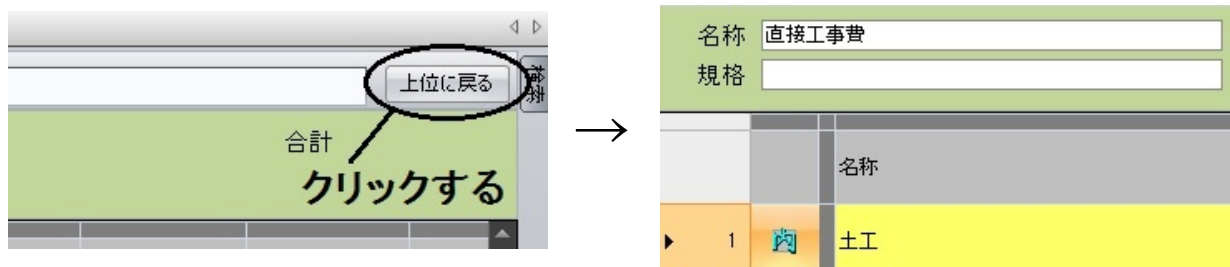
詳細へ入る、名称の編集等は、旧設計書にあった「ダブルクリックの動作設定」を  
使わずに行う事が出来ます。ユーザー側で設定する必要も無くなりました。

## 詳細への入り方と戻り方、名称の編集方法

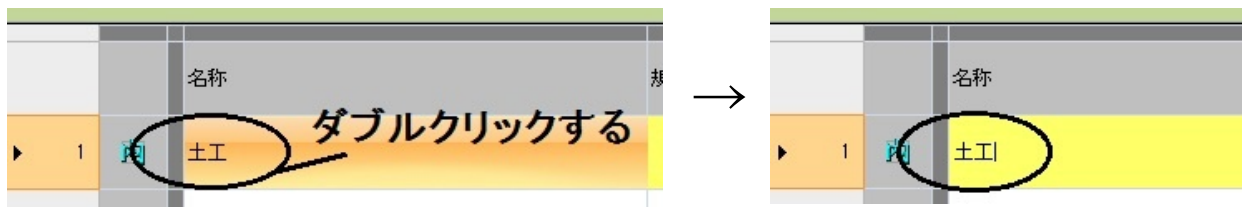
- 1.内訳書、または代価を作成します。(※作成方法は9~10ページ目をご覧ください)
2. 内」をダブルクリックすると、詳細へ入ります。



- 3.右側の「上位へ戻る」をクリックすると、上位へ戻ります。



- 4.名称をダブルクリックすると、名称の編集モードになります。



## 右クリックメニューについて

階層や内訳書の作成だけではなく、その他単価の作成や、コメントを追加する等の操作も行えます。コピーや貼り付けも可能です。

### 右クリックメニューの機能

1.任意のセルで右クリックをします。



**【代価】** 代価を作成します。

**【単価】** 単価を作成します。

#### **【施工パッケージ】**

作成などは行わず、単価検索の施工パッケージが開きます。

#### **【計算】**

「小計」や「合計」、計算式が含まれています。

#### **【クラス変更】**

「代価⇄内訳」や、「階層⇄代価」等、階層、内訳、代価の3つなら自由に変更出来ます。

#### **【コピー】**

選択した行のコピーを行います。連続して選択すれば、複数行のコピーが可能です。

#### **【貼り付け】**

コピーした物を貼り付けします。

追加 : 最下行に貼付

挿入 : 任意で選択した行の上行に貼付

上書 : 任意で選択した行を上書

#### **【注釈行】**

コメントを挿入出来ます。

使用例1 : 明日はここから積算」

使用例2 : 代わりに〇〇の材料使用」

#### **【空行】**

何処でも自由に挿入出来ます。挿入した箇所を選択した状態で、単価検索から転送を行うと上書きする事が出来ます。

#### **【削除】**

選択した行を削除します。コピー同様、複数行の削除が可能です。

#### **【移動】**

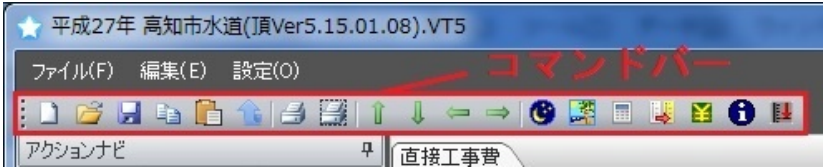
階層のレベルを変更をする時に使います。

# 新設計書のコマンドバーについて

設計書の新規作成や上書き保存等のファイル操作、階層のレベル変更、夜間/亜熱帯工事、単価一括変更等が行えます。

## コマンドバーの機能

1. ツールバーの下にコマンドバーがあります。



### 【新規作成】

新規設計書を作成します。保存されていない場合、作成前に保存するか警告が出ます。

### ↑ 【階層のレベル・順番の変更】

「← →」階層のレベルを変更出来ます。  
「↑ ↓」:内訳や単価等を移動出来ます。

### 【ファイルを開く】

保存済の設計書を開きます。

### 【夜間工事】

内訳書や代価を夜間工事に設定します。  
※詳しくは16ページ目をご覧ください。

### 【ファイルを保存】

各ボタンの「保存」と同じ動作です。  
※各ボタンについては7ページ目をご覧ください。

### 【亜熱帯工事】

内訳書や代価を亜熱帯工事に設定します。  
※詳しくは16ページ目をご覧ください。

### 【コピー】

右クリックの「コピー」と同じ動作です。  
※右クリックについては14ページ目をご覧ください。

### 【電卓】

Windows付属の電卓が起動します。

### 【貼り付け】

右クリックの「貼付け挿入」と同じ動作です。  
※右クリックについては14ページ目をご覧ください。

### 【バージョン情報】

新設計書のバージョンを表示します。

### 【上行コピー】

選択した行の1つ上行をコピー&貼付け一括で行います。最下行に貼り付きます。

### 【単価一括変更】

処分費や労務費などの単価を一括で変更します。  
※詳しい操作は17ページ目をご覧ください

### 【印刷】

設計書の印刷を行います。更に1つ右の印刷は、表示中のページを印刷します。  
詳しい操作は23ページをご覧ください。

### 【工事価格を表示】

積算中の設計書工事価格を表示します。  
諸経費画面の工事価格と同じです。

### 【最低制限価格計算】

以前のVT4で搭載していた「最低制限価格」の最新版です。

# 夜間/亜熱帯工事に設定する

新設計書では夜間工事だけではなく、亜熱帯工事も行えます。

## 夜間/亜熱帯工事の設定方法を知る

2.内訳書詳細へ入り、コマンドバーの  /  のどちらかをクリックします。  
(※コマンドバーについては15ページをご覧ください)

3.設定画面が表示されます。

### 【夜間工事】



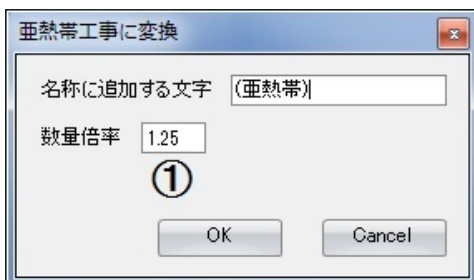
#### ①

対象の代価/内訳詳細の単価が指定倍率通りに変換されます。

#### ②

一般的には0と設定します。職業によって単価倍率を変更したい場合に使用します。

### 【亜熱帯工事】



#### ①

対象の代価/内訳詳細の数量が指定倍率通りに変換されます。

4.変換された事を確認します。

## 夜間/亜熱帯工事の注意事項

設定する前に以下の注意事項をお読み下さい。

- ①設定変更後は元の単価に戻す事は出来ません。
- ②直接工事費直下では設定が出来ません。詳細で行って下さい。



## 単価倍率/金額を一括変更する

労務費、処分費等対象を選択した上で、単価一括変更が行えます。

### 単価一括変更の設定方法

1.コマンドバーのをクリックします。  
(※コマンドバーについては15ページをご覧ください)

2.設定画面が表示されます。



単価の一括変更

単価増減方法

単価倍率  %

単価金額  円

計算元の金額

現行金額  初期金額

増減対象費用

材料費  労務費  処分費

損料・賃料  市場単価他

労務費単数処理

実行 キャンセル

#### 【単価倍率】

例えば「150%」の場合は1.5倍となります。

#### 【単価金額】

指定した金額に変更されます。

#### 【計算元の金額】

変更設計が有る場合に使用します。  
初期金額 最初に作った設計書が対象です。  
現行金額 変更設計が対象です。

#### 【増減対象費用】

チェックの有無で対象を選択出来ます。

#### 【労務費単数処理】

労務費を変更する上で端数が出た場合の処理方法を決められます。

3.一括変更された事を確認します。

# 単価を管材/処分費に設定する

右側の「集計対象」から設定を変更します。

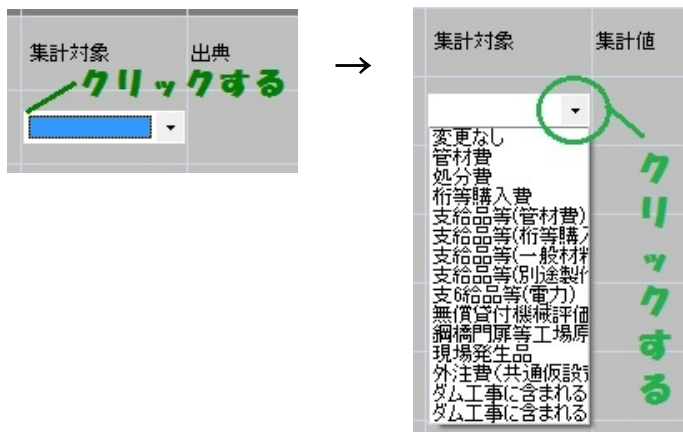
## 管材/処分費の設定方法

1. 設定したい代価/内訳詳細を開きます。  
(※開き方については13ページ目をご覧ください)

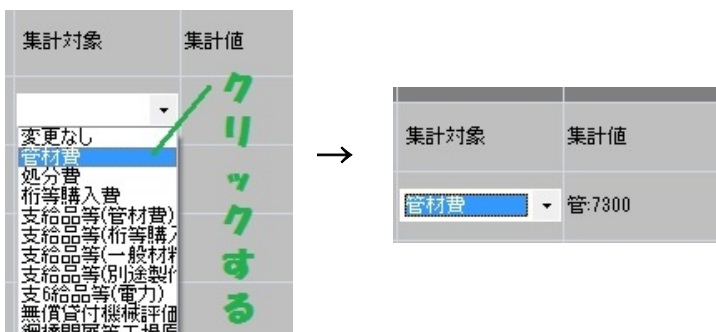
2. 画面下側のスクロールバーを右に動かすと、プロパティが出てきます。

帳票番号	集計対象	出典	計算方法	記号	コード
					UOrfF1_B1311010074
					ULDMjw_B1311010054
					UXA5q2_B1311043004
					UCiZwb_B1311043054

3. 「集計対象」をクリックすると空白の枠が表示され、更に▼をクリックするとメニューが開きます。



4. 設定したい項目を選択します。



# 共通仮設費の積上げ方

共通仮設費の積上げ方法の説明です。

## 共通仮設費の積上げ方

1. 工事費内訳の「共通仮設費積上額」をクリックします。

新規設計書2

ファイル(F) 編集(E) 設定(O) ヘルプ(H)

共通仮設費積上額

共通仮設費積上額

名称 共通仮設費積上額 帳票番号 内訳第0号

クリックする

行番	種別	名称	規格	単位	数量	単価
1	内	運搬費		式	1	
2	内	準備費		式	1	
3	内	仮設費		式	1	
4	内	事業損失防止施設費		式	1	
5	内	安全費		式	1	
6	内	役務費		式	1	
7	内	技術管理費		式	1	
8	内	宮繕費		式	1	
9	内	労務者輸送費		式	1	
10	内	イメージアップ経費		式	1	

次ページへ続きます

2.例えば「安全費」に、「交通誘導員B」を入れます。

共通仮設費積上額

共通仮設費積上額 ▶ 安全費

名称 安全費 帳票番号 内訳第0号

行番	種別	名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
▶ 1	👤	交通誘導員B		人	112	7,700	862,400	

3.諸経費画面の「経費計算」を見ると、積上げが出来ている事が分かります。

各種設定

プリセット: 00\_デフォルト

科目名	金額/値(当世代)	計算方法
▶ A 直接工事費		自動計算
B 共通仮設費率額		自動計算
C __共通仮設費対象額		自動計算
D __共通仮設費率	0.1253	自動計算
E1 イメージアップ経費率額		計算しない
F1 __イメージアップ経費対象額		計算しない
G6 __イメージアップ経費率		計算しない
H 共通仮設費積上額	862,400	自動計算
I 共通仮設費計	862,400	自動計算
J 純工事費	862,400	自動計算
K 現場管理費率額	362,000	自動計算
L __現場管理費対象額	862,400	自動計算
M __現場管理费率	0.4202	自動計算
MG 現場管理費積上額		自動計算
N 現場管理費計	362,000	自動計算

# 表紙の設定

設計書の表紙の設定が行えます。

## 表紙の設定方法

1. 各種設定」をクリックすると、自動で「表紙」設定画面を開きます。
2. 複数の設定項目が表示されます。  
内容」②)の部分に必要事項を入力します。

新規設計書2

ファイル(F) 編集(E) 設定(O) ヘルプ(H)

アクションナビ

単価検索 ユーザ単価 再計算

印刷 保存

各種設定

諸経費

表紙(プリセット対象外)

工事内容

積算条件

見積情報 ①

積算者情報

端数処理

帳票番号

合算/変更設計(プリセット対象外)

その他

工事費内訳

諸経費

単価一覧

各種設定

各種設定

プリセット: 00\_デフォルト

選択 保存

項目	内容
☐-工事内容	
-工事番号	
-工事名	
-工事場所	
-場所名称	
-工期	
-起工予定日	
-竣工予定日	
-発注者	
-事業主体	
-施工年度	
-概要-1	
-概要-2	
-概要-3	
-概要-4	
-概要-5	
-概要-6	
-概要-7	
-概要-8	

②

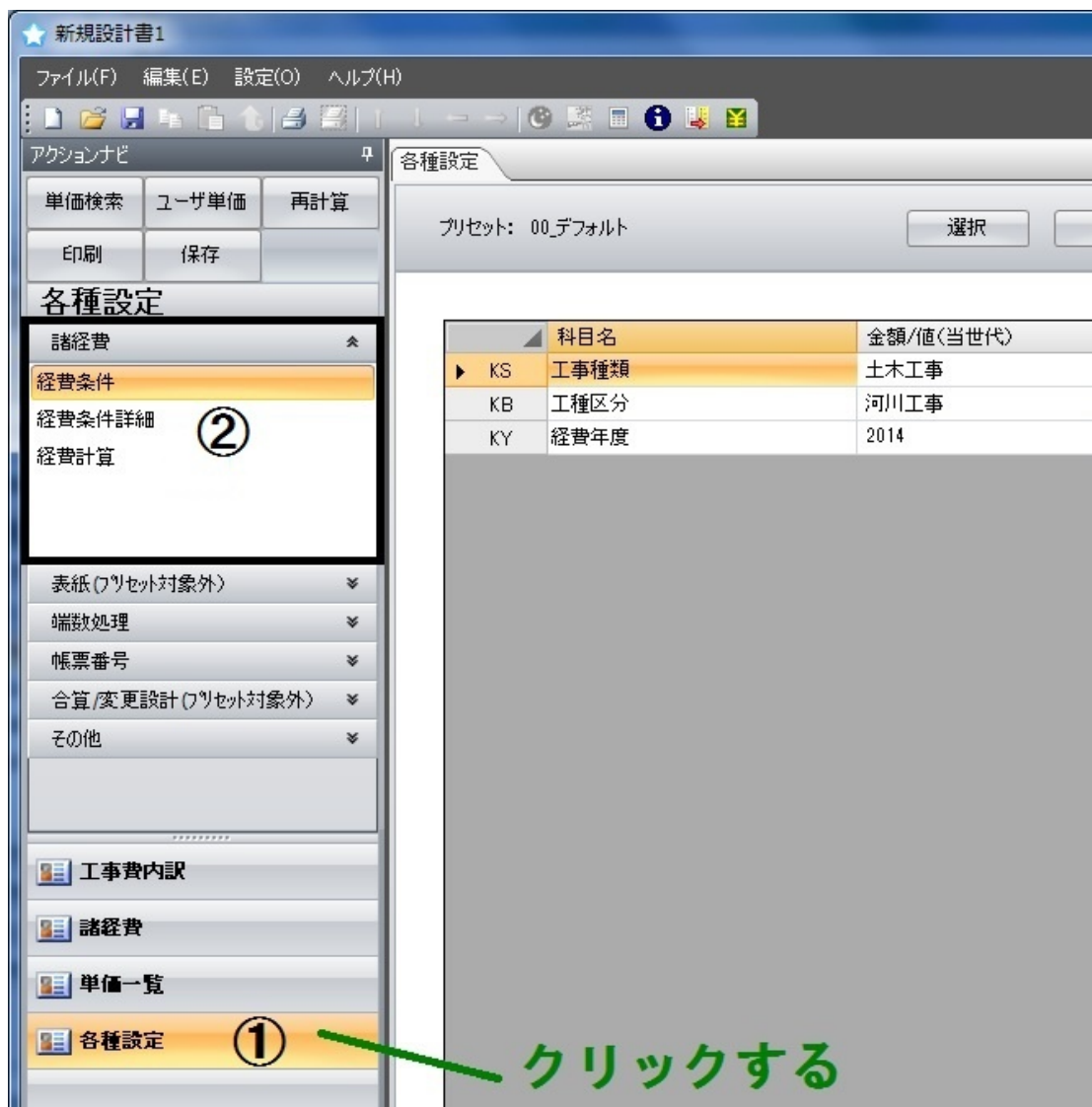
クリックする

# 諸経費の設定

設計書の諸経費の設定が行えます。

## 諸経費の設定方法

- 1.各種設定の「諸経費」をクリックします。
- 2.複数の設定項目が表示されます。



### 【経費条件詳細】

直工に含まれる管材/処分費等の金額の確認や、現場管理費補正等の設定が行えます。

### 【経費計算】


共通仮設費計の確認、共通仮設費率の設定や、工事価格/消費税等の確認、設定が行えます。

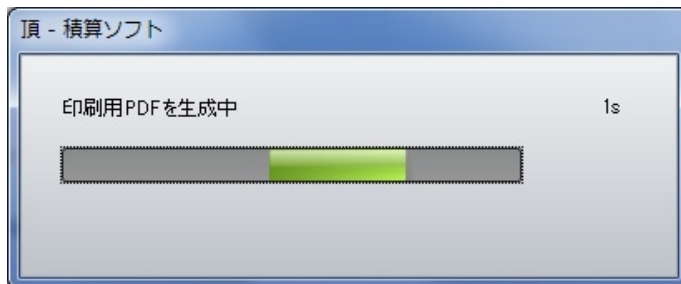
## 表示中のページを印刷する

設計書全体ではなく、印刷したい部分のみで行えます。例えば、内訳書詳細に入っている時、それより下の子どもは含まずに印刷を行います。

---

### あるページだけを印刷する

- 1.印刷をしたい設計書を開き、更に内訳詳細、または代価詳細を開きます。  
(※開き方は12ページ目をご覧ください)
- 2.コマンドバーの  ボタンをクリックします。  
(※コマンドバーについては15ページ目をご覧ください。  
※各ボタンの印刷、ツールバーの印刷でも同じです。)
- 3.生成中の画面が表示されます。




- 4.生成されたPDFファイルが自動で開きます。

# 印刷フォーマットの設定

従来の横向き印刷や縦の印刷、名称と規格と別列にした印刷、変更設計の印刷等、色々な印刷フォーマットで出力が出来ます。

## 印刷フォーマットの種類

1. コマンドバーの  ボタンをクリックします。  
※コマンドバーについては15ページ目をご覧ください。  
※各ボタンの印刷、ツールバーの印刷でも同じです。
2. 「印刷フォーマット」より右側の▼ボタンをクリックするとメニューが開きます。



**【50,51】上段下段**  
名称や規格の列を別けずに、2段書きで印刷します。

資材費

施

名称・規格など	数量
ダクタイトル鉄管G X形S種直管 径100mm×L4m 内面エポ	19

**【2,53】上段下段 名称規格別列)**  
名称や規格の列を別けて印刷します。

資材費

名称・規格など	規格
ダクタイトル鉄管G X形S種直管	径100mm×L4m内面エポ

次ページへ続きます



【4,55】変更設計左右列  
 変更設計がある場合、当初/変更と別けて印刷しま

当初設計			変更設計		
数量	単価	金額	数量	単価	金額
19	29,300	556,700	19	32,000	608,000


【6,57】当初設計左右列  
 設計書に変更設計があっても、当初しか印刷しません。

当初設計			変更設計		
数量	単価	金額	数量	単価	金額
19	29,300	556,700			

# 印刷対象の設定

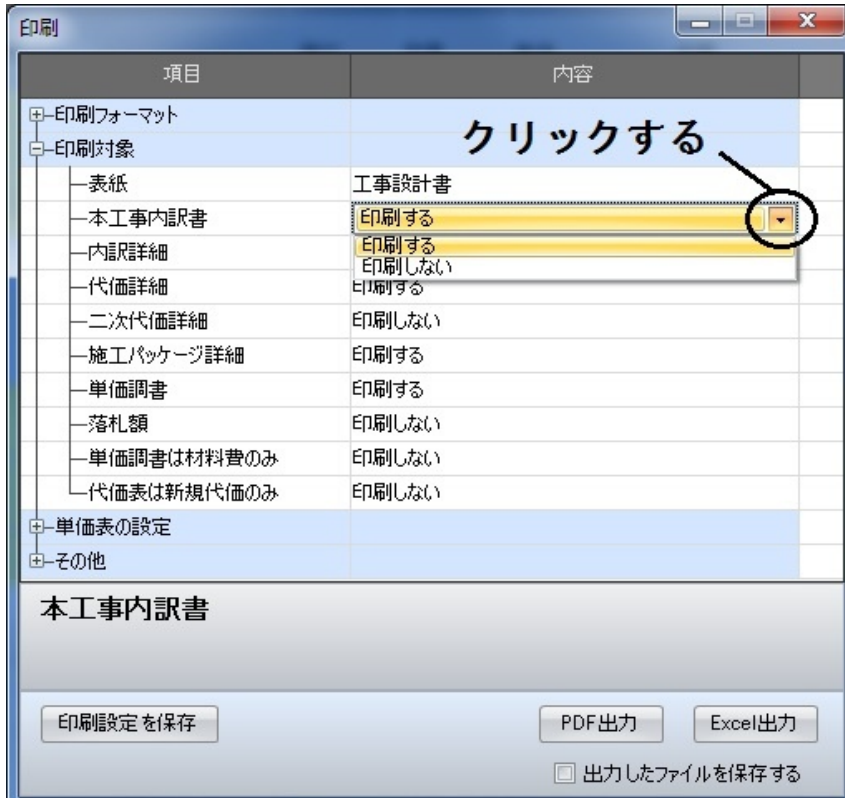
代価、内訳詳細、2次代価等の印刷対象をユーザ側で設定が出来ます。

## 設定が出来る項目

1. コマンドバーの  ボタンをクリックします。

※コマンドバーについては15ページ目をご覧ください。  
※各ボタンの印刷、ツールバーの印刷でも同じです。


2. 各印刷対象より右側の▼ボタンをクリックするとメニューが開きます。

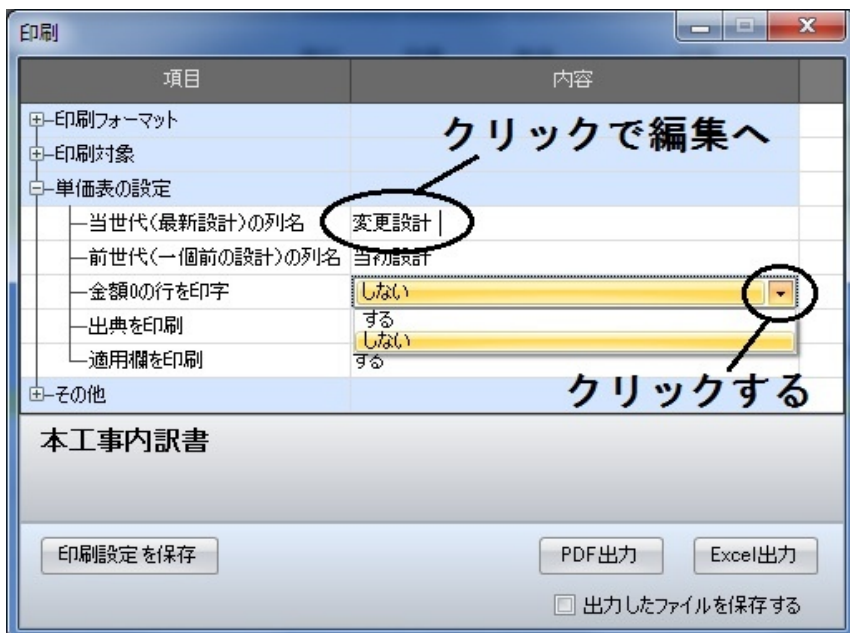


# 設計書名や単価表の設定

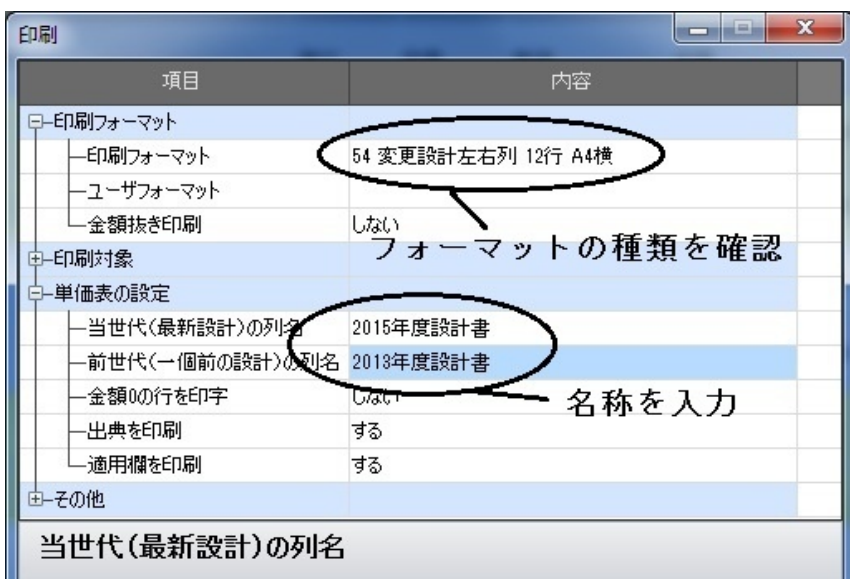
当初/変更設計の名称変更、出典や摘要欄の印字設定が行えます。

## 設定が出来る項目

1. コマンドバーの  ボタンをクリックします。  
※コマンドバーについては15ページ目をご覧ください。  
※各ボタンの印刷、ツールバーの印刷でも同じです。
2. 設計書の名称変更は、クリックする事で編集へ入ります。  
 印字設定は右側の▼ボタンをクリックして選択します。



3. 設計書名を変更した場合は、下記の部分が変わります。




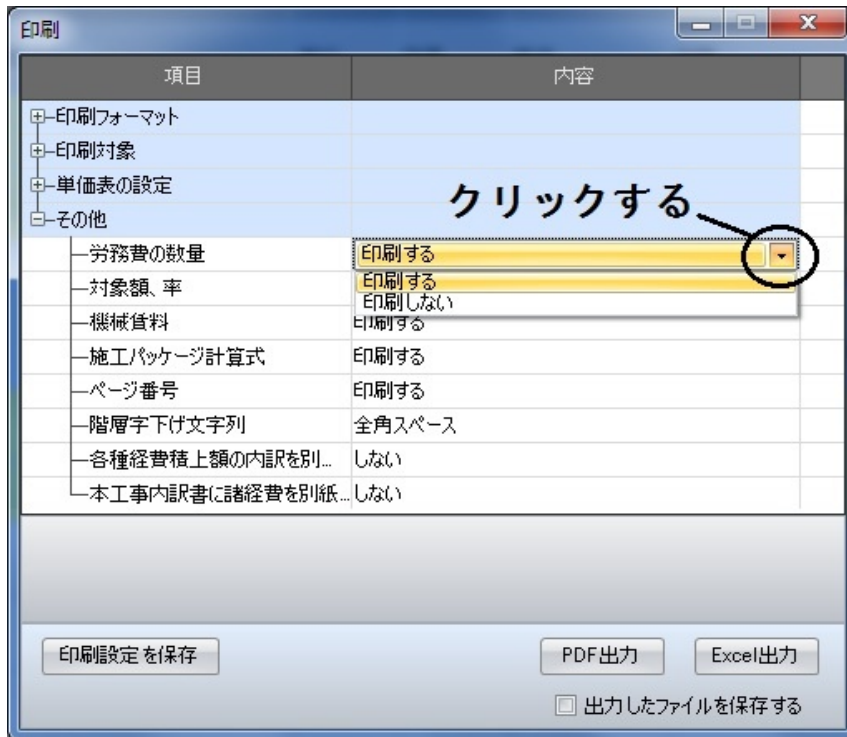
2013年度設計書			2015年度設計書		
数量	単価	金額	数量	単価	金額

## その他印刷の設定

当初/変更設計の名称変更、出典や摘要欄の印字設定が行えます。

### 設定が出来る項目


1. コマンドバーの  ボタンをクリックします。  
※コマンドバーについては15ページ目をご覧ください。  
※各ボタンの印刷、ツールバーの印刷でも同じです。
2. 各印刷設定より右側の▼ボタンをクリックするとメニューが開きます。

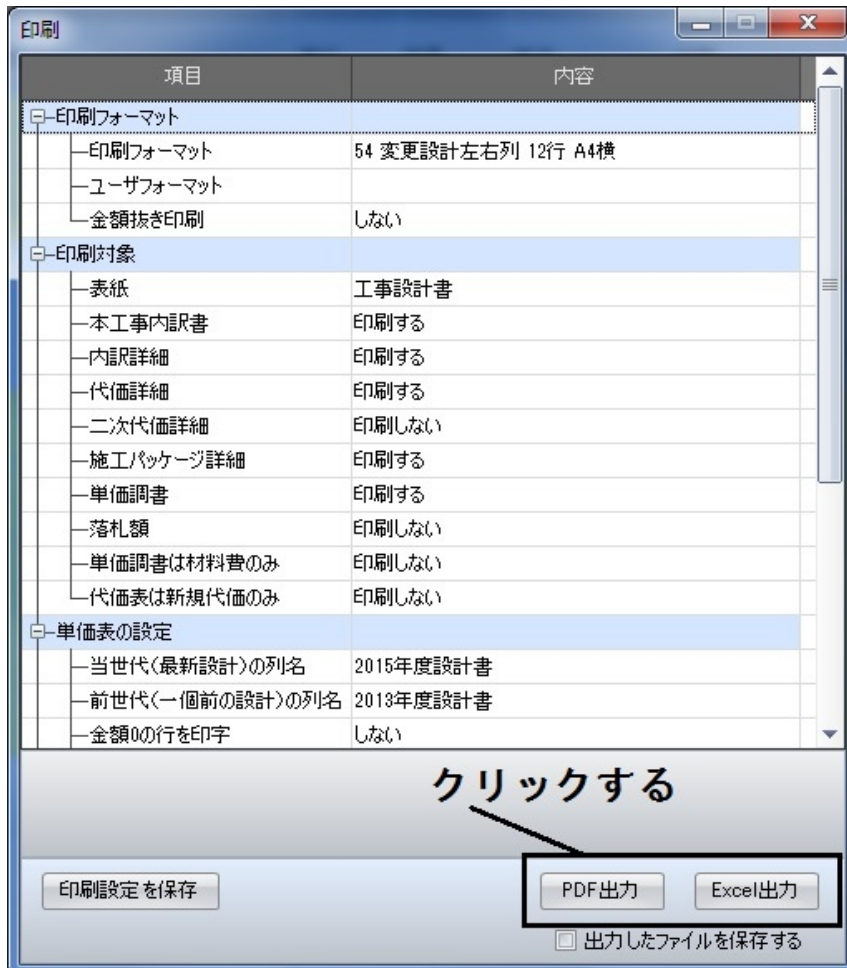


# PDF/Excel形式で出力

実際の印刷はPDFまたはExcelで出力が出来ます。

## PDF/Excelで出力する

1. コマンドバーの  ボタンをクリックします。  
※コマンドバーについては15ページ目をご覧ください。  
※各ボタンの印刷、ツールバーの印刷でも同じです。
2. 必要であれば各種印刷設定を行い、  
PDFまたはExcel出力をクリックします。



# 内訳/代価番号の採番

内訳や代価等の番号は、手動で機械的に振り直します。

## 内訳や代価番号を採番し直す

- 1.各種設定の「帳票番号」をクリックします。必要であれば「開始番号」を任意の数字に変更します。

① クリックする

② クリックする

	フォーマット	開始番号
▶ 内訳表	内訳第%d号	1
一次代価表	代価第%d号	1
二次代価表	代価第%d号	5000
施工パッケージ	施工第%d号	1

採番する

印刷しない代価は採番しない

次ページへ続きます

## 【作成順】

階層のレベル等は関係なく、昇順に採番します。

## 【例えば】

最上位から順番に見て内訳があった場合、その内訳から見ます。  
 下記の場合、3～4行目の内訳詳細に代価が1つずつ存在してるので、  
 5行目と6行目の代価番号が3号、4号となっています。

行番	種別	名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要	帳票番号
1	①	作成順		式	1		56,275		
2	②	作成順		式	1		55,961		
▶ 3	内	作成順		式	1	260	260		内訳第1号
4	内	作成順		式	1	21,664	21,664		内訳第2号
5	代	バックホウ掘削積込 山積0.8m3(平0.6) 地山	粘性土 砂・砂質土 粘性土 障害無	m3	1	197	197		代価第3号
6	代	小型バックホウ搬入 搬出作業		回	1	33,840	33,840		代価第4号
7	②	作成順		式	1		314		
8	③	作成順		式	1		314		
9	代	タンクトラック運搬 10t積級 土砂 バックホウ積 込 山積0.8m3 良好	DID区間無 運搬 距離 0.3km以下	m3	1	314	314		代価第5号
10	①	作成順		式	1		1,693		
11	内	作成順		式	1	1,693	1,693		内訳第3号

次ページへ続きます

**【表示順】**

直接工事費の代価/内訳を昇順で振った後、更に最上位から内訳詳細を順番に見て、番号を振っていきます。

**【例えば】**

まずは直接工事費内の内訳/代価に対して、昇順で番号を振ります。その後、3行目の内訳詳細の代価を昇順で振り、次に4行目の内訳詳細の代価を昇順で振っていきます。

行番	種別	名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要	帳票番号
1	①	表示順		式	1		56,275		
2	②	表示順		式	1		55,961		
3	内	表示順		式	1	260	260		内訳第1号
4	内	表示順		式	1	21,664	21,664		内訳第2号
5	代	バックホウ掘削積込山積0.8m3(平0.6) 地山	れき質土 砂・砂質土 粘性土 障害無	m3	1	197	197		代価第1号
6	代	小型バックホウ搬入搬出作業		回	1	33,840	33,840		代価第2号
7	②	表示順		式	1		314		
8	③	表示順		式	1		314		
9	代	タンクトラック運搬10t積級 土砂 バックホウ積込山積0.8m3 良好	DID区間無 運搬距離 0.3km以下	m3	1	314	314		代価第3号
10	①	表示順		式	1		1,693		
▶ 11	内	表示順		式	1	1,693	1,693		内訳第3号

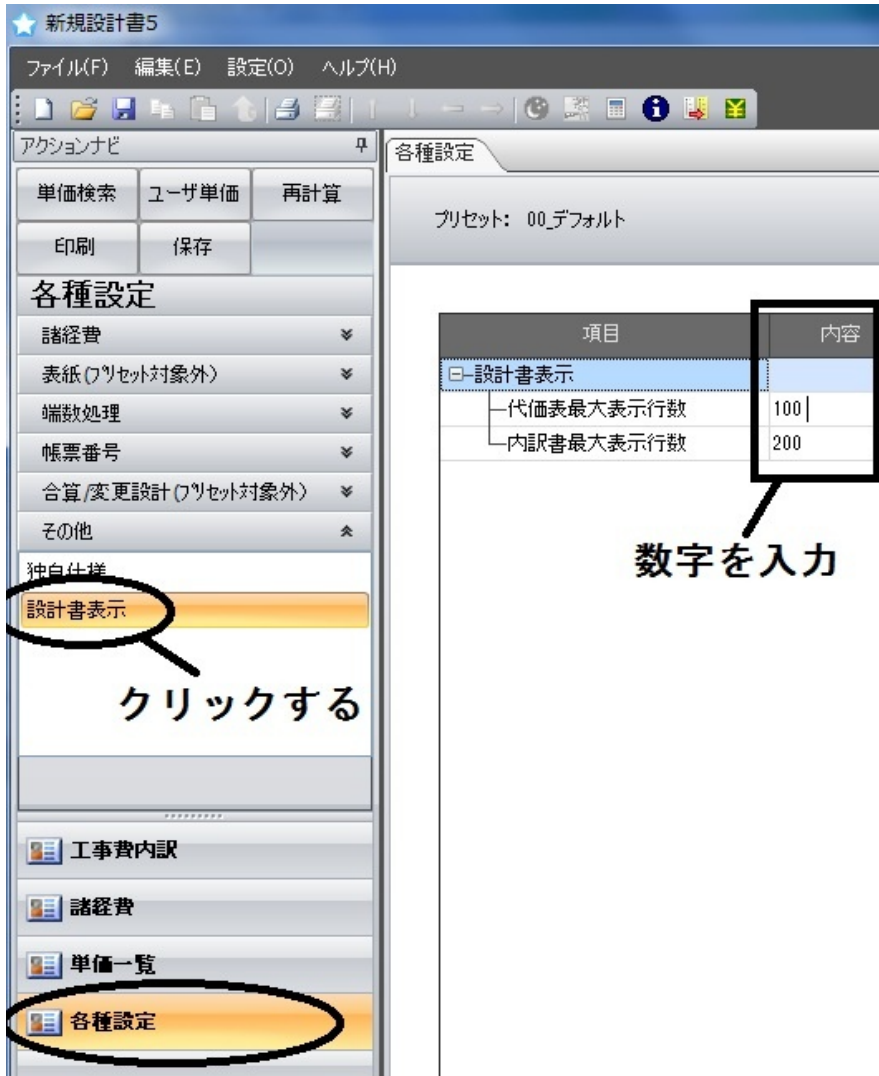


# 内訳/代価の表示行数

直接工事費の各ページで表示出来る行数を増やせます。

## 表示行数の設定方法

- 1.各種設定の「その他」をクリックします。
- 2.右側の「内容」の部分に、数字を入力する事で表示行数を増やせます。



各種設定

プリセット: 00\_デフォルト

項目	内容
設計書表示	
代価表最大表示行数	100
内訳書最大表示行数	200

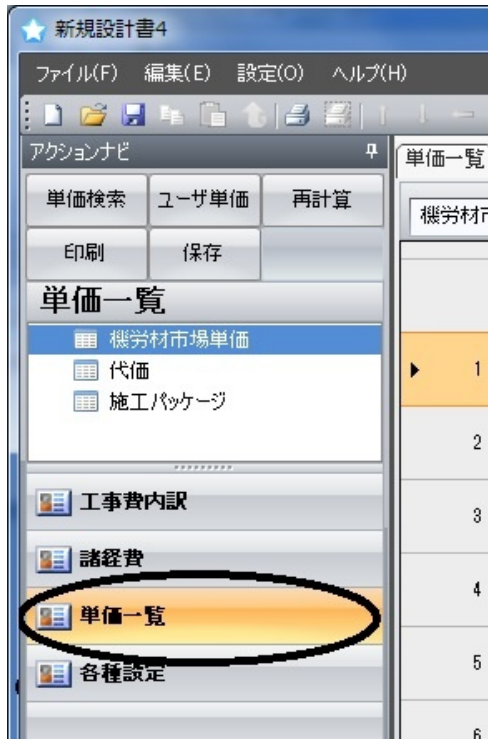
数字を入力

# 単価一覧画面について

労務費や損料等の単価分類、管材/処分費等の集計対象等の確認が行えます。

## 新設計書の単価一覧画面

- 1.各グループの「単価一覧」をクリックします。  
一覧には「機労材市場単価」、「代価」、「施工パッケージ」の3種類が有ります。(※各グループについては6ページ目をご覧ください)。



次ページへ続きます

2.右側の画面に「機労材単価一覧」が表示されます。

3.「労務費」、「損料・賃料」等、単価により分類されます。  
 「集計対象」は、直接工事費の設定が反映されています。

(※集計対象の設定方法は18ページ目をご覧ください)

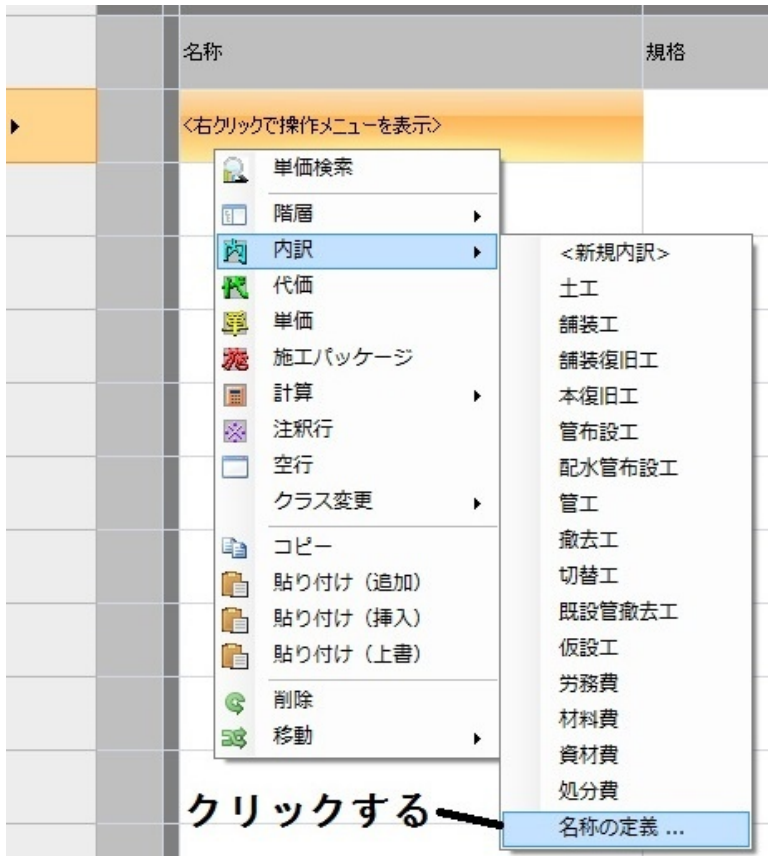
単価一覧									
機労材市場単価									
	名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要	単価分類	集計対象
1	【労務費】					163,506			
2	土木一般世話役		人	0.26	17,800	4,628		労務費	
▶ 3	普通作業員		人	8.26	13,700	113,162		労務費	
4	特殊運転手		人	0.585	16,500	9,652		労務費	
5	特殊作業員		人	2.24	16,100	36,064		労務費	
6	【損料・賃料】					7,375			
7	小型バックホウ(クロー型) [排対型(1次基準)]	山積0.13m3(平積)	日	0.585	10,100	5,908		損料・賃料	
8	鋳鉄管切断機損料	φ450以下用	日	1.26	1,165	1,467		損料・賃料	
9	【材料費】					1,907			
10	軽油		リットル	15.136	126	1,907		一般材料費	
11	【管材費】					552,620			
12	GX形 DIP 短管1号	φ75(GF7.5K) 接合	個	18	19,190	345,420		一般材料費	管材費
13	地下式消火栓	FCD製 呼び径75	個	4	51,800	207,200		一般材料費	管材費

# 内訳書名称を任意で設定したい

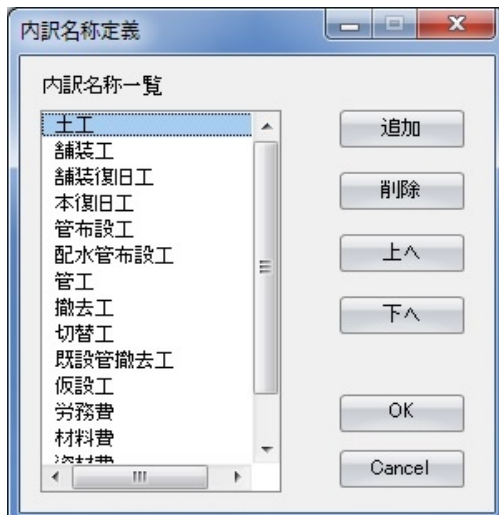
ユーザで定義した内訳書名称をそのまま保存/使用が出来ます。

## 内訳書名称定義の設定方法

- 1.直接工事費を開き、任意のセルで右クリック →  
内訳 → 名称定義 をクリックします。



- 2.定義の設定画面が表示されます。



**【追加】**  
任意の内訳名称を定義して追加します。

**【削除】**  
既存の内訳名称を削除します。

**【上へ/下へ】**  
定義した内訳の順番を変更できます。

# スペースを含んで検索する

単価の検索をする時に、スペースを含んだ検索が行えます。  
これを行う事で、より絞り込んで検索する事が可能です。

## スペースを含んだ検索方法

- 1.直接工事費を開き、単価検索を開きます。
- 2.単価検索の下部にある検索で、例えば「バックホウ 0.13」と検索します。  
「バックホウ山積0.13」等、1つの文言だけでの検索ではなく、スペースを含んでも関連する物が検索結果に出てきます。

単価検索 - [施工単価]

ファイル(F) 表示(V) 設定 ヘルプ

施工単価 基礎単価 機械損料 施工パッケージ 建設物価 全日出版

単価分類: A土木, B土地改良, D下水道, E上水道, G機械設備工事, H造園, J除染工事, K治山林道, L機械運転費(指定事項無), N市場単価, S県別参考歩掛, M機械損料

都道府県: 11 埼玉県 単価年度: 2013-10-01 地区: 001 県南

検索: 対象: 施工単価 名称: バックホウ 0.13 規格:

	コード	名称
1	A-1-9-4-1(1)	バックホウ山積0.13m3積込→★A-1-5-5-2-1-1
2	A-1-9-6-1(2)	バックホウ山積0.13m3積込→★A-1-5-5-2-4-1
3	A-1-9-7-1(2)	バックホウ山積0.13m3積込→★D-1-1-3-5-3-2
4	A-1-9-8-1(2)	バックホウ直接掘削山積0.13m3→★A-1-5-2
5	A-1-5-5-2	2t積(バックホウ山積0.13m3良好)
6	A-1-5-5-2-1-1-1	タンクトラック運搬 2t積級 土砂 バックホウ山積0.13 良好
7	A-1-5-5-2-1-1-2	タンクトラック運搬 2t積級 土砂 バックホウ山積0.13 良好
8	A-1-5-5-2-1-1-3	タンクトラック運搬 2t積級 土砂 バックホウ山積0.13 良好
9	A-1-5-5-2-1-1-4	タンクトラック運搬 2t積級 土砂 バックホウ山積0.13 良好
10	A-1-5-5-2-1-1-5	タンクトラック運搬 2t積級 土砂 バックホウ山積0.13 良好

検索

# 施工パッケージの材料を変更する

施工パッケージの材料を、設計書へ転送した後でも変更が出来ます。

## 材料を変更する

1. 転送した施工パッケージの詳細を開きます。

	名称	規格
▶ 1 ❸	下層路盤(車道・路肩部)	75mm <sup>≧</sup>

ダブルクリックで開く

2. 「Z1」選択し、右クリックから単価検索をクリックします。

アクションナビ

単価検索	ユーザ単価	再計算
印刷	保存	

工事費内訳

- 直接工事費
- ❸ 下層路盤(車道・路肩部)
- 共通仮設費積上額
- 現場管理費積上額
- その他工事費用

直接工事費 施工パッケージ詳細

直接工事費 ▶ 下層路盤(車道・路肩部)

名称 下層路盤(車道・路肩部) UE8eIE-P133\_1  
規格 75mm<sup>≧</sup>125mm<sup>以下</sup>クラッシャーラン C-40 条件変更

代表機	代表機	代表機	代表機	代表機
▲	代表機	代表機	代表機	代表機
代表機	代表機	代表機	代表機	代表機
K	機械	-	9.92	
K1	モータグレーダ[油圧式・排ガス対策型(第1次)] ...	供用日	3.64	15,300
K2	ロードローラ[マカダム・排ガス対策型(第1次)] 質...	供用日	2.82	11,700
K3	タイヤローラ[排出ガス対策型(第1次基準値)] ...	供用日	2.64	10,800
R	労務	-	15.87	
R1	特殊運転手	人	8.43	16,500
R2	普通作業員	人	6.13	13,700
Z	材料	-	74.21	
▶ Z1	クラッシャーラン C-40	m <sup>3</sup>	71.94	3,550
Z2	軽油 1.2号 / 軽油	kg	2.09	126

① 選択した後に右クリックする

② クリックする

③ ※クラッシャーラン C-40 を再生砕石 RC-40 に変更します。

次ページへ続きます

3.希望の単価を選択し転送します。

都道府県	39 高知県	単価年度	2013-10-01	地区	001 安芸1	転送
P 県発表データ ▶ 01 資材単価 ▶ 28 砂・骨材 ▶ 02 砕石						上位に戻る
名称	砕石		P012802	合計		
規格						
	コード	名称	規格	単位	単価	備考
8	単 P0128020080	クラッシャー30~0	C-30	m3	3,550	
9	単 P0128020090	粒度調整砕石40~0	M-40	m3	3,700	
10	単 P0128020100	粒度調整砕石30~0	M-30	m3	3,700	
11	単 P0128020110	再生砕石	RC-30	m3	2,650	
▶ 12	単 P0128020120	再生砕石	RC-40	m3	2,650	
13	単 P0128020130	再生粒度調整砕石	RM-30	m3	0	

4.軽油から転送した材料へ 上書きされた事が分かります。

アクションナビ	共通仮設費積上額	施工パッケージ詳細			
単価検索	ユーザ単価	再計算			
印刷	保存				
工事費内訳					
☑ 直接工事費					
☑ 下層路盤(車道・路肩部)					
☑ 共通仮設費積上額					
☑ 現場管理費積上額					
☑ その他工事費用					
直接工事費 ▶ 下層路盤(車道・路肩部)					
名称	下層路盤(車道・路肩部)		UZhFG9-P133_1		
規格	75mm超125mm以下、クラッシャー C-40		条件変更 単位		
	代表機劣材規格(現地)	単位	構成比	単価(現地)	補正式
K	機械	-	9.92		
K1	モータグレーダ[油圧式・排ガス対策?供用日		3.64	15,300	
K2	ロードローラ[マカダム・排ガス対策?供用日		2.82	11,700	
K3	タイヤローラ[排出ガス対策型(第1供用日		2.64	10,800	
R	労務	-	15.87		
R1	特殊運転手	人	8.43	16,500	
R2	普通作業員	人	6.13	13,700	
Z	材料	-	74.21		
▶ Z1	再生砕石 RC-40	m3	71.94	2,650	

変更後の材料

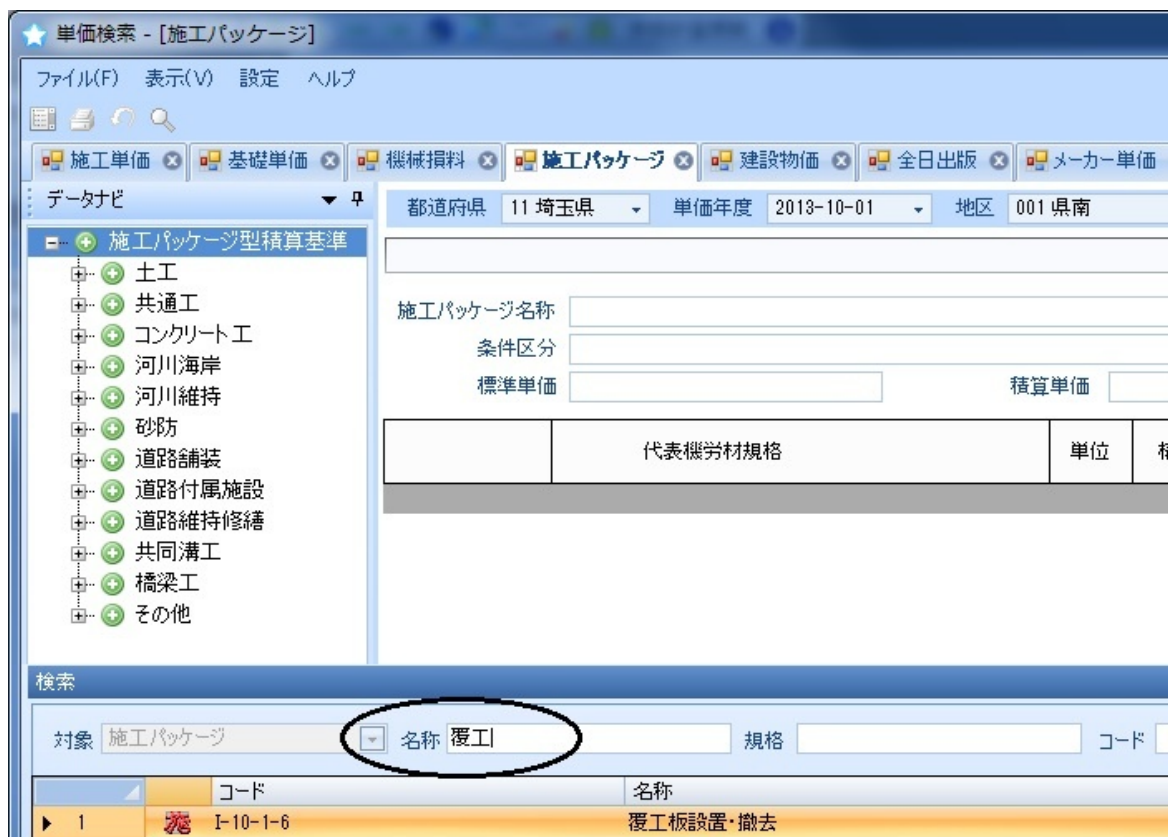
## 施工パッケージを検索する

施工パッケージを分類から探すのが難しい時に使用します。

### 施工パッケージを検索する

1.直接工事費を開き、右クリックから施工パッケージをクリックします。  
(※右クリックについては14ページ目をご覧ください)

2.例えば、名称検索で「覆工」と検索します。



2.検索結果をダブルクリックする事でツリーが開き  
更に条件区分の 選択画面を表示されます。



# 旧単価を新年度単価へ更新する

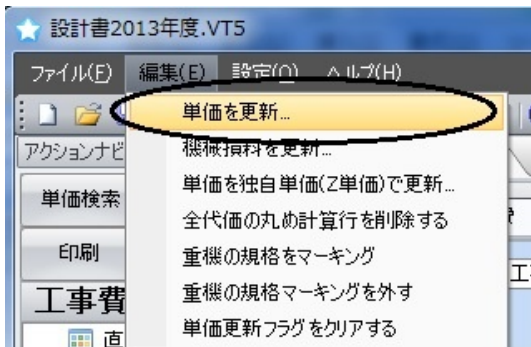
以前の設計書で使っていた旧単価を、新年度単価へ一括で更新出来ます。

## 一括更新の方法

1.新年度単価へ更新をしたい設計書を開き、「単価一覧」を開きます。



2.ツールバーの「編集」から、「単価を更新」をクリックします。



次ページへ続きます

3.希望の単価を選択し転送します。

**適用したい年度を選択する**

建設物価 × 全日出版 × メーカー単価 × 歩掛 × VT5\_WORKING\_TEMP...141721226780.VT5 ×

単価年度: 2013-10-01 (dropdown menu open) 地区: 001 安芸1 歩掛年度: 2013  豪雪  被災地 転送

名称	単位	旧単価	新単価	摘要	使用コード
普通	人	13,700	13,700		A0101010020
特殊	人	16,100	16,100		A0101010010
軽作業員	人	11,500	11,500		A0101010030
一般運転手	人	14,700	14,700		A0101010150

4.単価を確認してから転送をクリックします。  
設計書の単価が、指定の金額に変わった事を確認します。

**単価を確認**

建設物価 × 全日出版 × メーカー単価 × 歩掛 × VT5\_WORKING\_TEMP...141721226780.VT5 ×

単価年度: 2015-02-01 地区: 001 安芸1 歩掛年度: 2013  豪雪  被災地 転送

名称	規格	単位	旧単価	新単価	摘要	使用コード
20 普通作業員		人	13,700	14,700		A0101010020
10 特殊作業員		人	16,100	17,300		A0101010010
30 軽作業員		人	11,500	12,300		A0101010030
50 一般運転手		人	14,700	15,700		A0101010150

**転送をクリック**